



平成24年10月18日

各位

会社名 ヤマトホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 木川 眞
(コード番号 9064 東証第1部)
問合せ先 常務執行役員 財務戦略担当 芝崎 健一
電話番号 (03) 3541-4141

平成25年3月期 連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成24年4月27日に公表した平成25年3月期の第2四半期累計期間および通期の連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

第2四半期連結累計期間 (平成24年4月1日 ~ 平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	630,000	23,500	24,000	12,000	27円90銭
今回修正予想 (B)	617,300	18,000	18,900	8,000	18円60銭
増減額 (B-A)	△12,700	△5,500	△5,100	△4,000	—
増減率 %	△2.0%	△23.4%	△21.3%	△33.3%	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	613,526	22,676	23,307	5,877	13円66銭

通期 (平成24年4月1日 ~ 平成25年3月31日)

(単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,308,000	70,000	71,000	39,000	90円67銭
今回修正予想 (B)	1,308,000	70,000	71,000	38,000	88円34銭
増減額 (B-A)	—	—	—	△1,000	—
増減率 %	—	—	—	△2.6%	—
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期)	1,260,832	66,650	67,902	19,786	46円00銭

2. 業績予想の修正の理由

第2四半期の業績は、収益面では、宅急便取扱い数量が計画未達となったことや、クロネコメール便の荷受厳格化の影響が想定を上回ったこと、費用面では、集配改革が期待した効果に到達せず要員投入が先行していること、および保有する投資有価証券を減損処理したことなどにより、前回発表予想（平成24年4月27日発表）を下回る見込みとなりましたので修正いたします。

今後の経済情勢については、円高の進行や国内景気の停滞感など、先行き不透明な状況が続くものと予想されますが、ヤマトグループは、グループ連携によるソリューション提案を推進するとともに、クロネコメール便について付加価値商品の展開を推進するなど、お客様の利便性を向上することにより、市場競争力を高め、収益基盤を強化してまいります。合わせて費用面では、集配改革の効果を確実に出すことに加え、業務量に対応した下払い経費のコントロールを徹底するなど、コスト構造を抜本的に改善することにより、生産性を向上し、営業利益を確保してまいります。

これらにより、通期の業績予想としましては、第2四半期において保有する投資有価証券を減損処理した影響を考慮し、当期純利益のみ修正いたします。

※業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上